



▲シャッターの閉まった商店街



大熊 則雄 議員

地域活性化

商店街の活性化は

答弁：勉強させて下さい

大熊 行政と商工会、地域代表者のプロジェクトチームをつくって立ち上げるといふ明確な答えがあります。何回ぐらい、意見が交換されたのか。地域整備課参事 昨年、

商工会から新事業等の調査研究事業として立ち上げた志免町の商店街全体を町内外にアピールする必要性から今回志免ブランド商品の開発と一店逸品運動。  
町おこしにつながるために二年目は調査研究及び商工業者への啓蒙計画。二年目で開発や情報発信。  
三年目で販路開拓、販売促進を段階的に達成し、商店街の活性化に努める研究事業です。  
町長 シャッターが閉まっている。一村逸品ならぬ一店逸品運動の開発、あるいは志免ブランド商品を開発しようという相乗り事業です。  
商店街、商工会、地域が努力いただければ、成果が生まれると思います。

医療費

就学前迄無料化せよ

答弁：慎重に対応している



末藤 省三 議員

末藤 就学前迄の医療費無料化についてはその後のようになつたか。粕屋郡6町の中他の自治体は、一歳引き上げて5歳まで無料化すると議会答弁があるが、聞きなつていませんか、町



▲健診の様子

長会で決まったのではないですか。  
町長 それは古賀市のことではないかと思うが、慎重に対応しているところ。  
国保の減免を実施せよ  
答弁：減免の規定はある  
末藤 国保の資格証明書短期証明書だけでも800世帯あり、病気で収入がない人など、減免規定のなかに特別の事情とは。  
住民課長 政令で定める特別な事情とは、①世帯主が災害及び盗難にあつた場合②親族が病気にかかり又は負傷した場合③事業及び店を廃止又は休止④事業につき著しい損失を受けたことなどが規定されている。



助村 千代子 議員

誰もがわかる言葉で

答弁：心して改善していく

お役所言葉

助村 お役所言葉はかた苦しい行政用語や難解なわかりにくい、片仮名用語が多く使用されて住民にはわかりづらい、改善するべきである。  
総務課長 国・県からの通知文書も片仮名用語が



▲わかりやすい言葉

多く私どもにとつても難解な言葉も多い、住民にとつてはなおさらのこと、今後でだてを考える。  
町長 事務的にお役所のな発想で使っているのので、文言、言葉遣いに十分注意したい。

妊産婦の無料検診拡大  
答弁：郡内統一で考える

助村 現在2回行われている公費負担による妊産婦検診を最低5回に拡大を望む。  
公費分を除いても12万

円程は、経済的基盤が弱い子育て世代には負担は大きい。  
健康課長 公費負担を5回に拡大すると1000万円程増えるが、郡内で統一を今考えている。  
町長 財政的な問題もある。郡内で足並をとの思ひもあり市町長等で協議したい。

合併問題

住民説明会は充分か

答弁：まだまだ足りない



吉田 耕二 議員

吉田 6回の住民説明会が開催された、それについて町長はどの様な感想を持っているのか。  
町長 参加者が非常に少なかった、反省をしている。説明会についてはまだまだこれでは足りない、押しかけて行つて合併についての必要性、計画について説明したい。  
法定協が立ち上がると具体的な説明もしやすい、合併に向けてしっかりとした取り組みをする。

高齢者などの住居確保  
答弁：今後考えていく  
吉田 高齢者向けの有料賃貸住宅制度がある、この様な制度を利用して、独自の民間活力を利用して、高齢者のための住居の安定確保についての指針づくりに取り組んでいる。



▲合併住民説明会

町長 企業でその様な開発をしている所もある。民間活力をどの様に利用するかは非常に重要な課題であると思う、そういう視点で今後この高齢者向けの住宅について考えて行きたい。